

DO YOU KNOW? にいがた



Oct 2024
Vol.438

10

よい会社、よい経営者、よい経営環境を目指す



障がいにかかわらず 働ける

【特定非営利活動法人あおぞら 理事長】
本多 佳美 氏 新潟支部サウス地区



本多さんは10月17日の
新潟支部例会で
報告されます!
下記QRコードから
内容をご確認ください!

社会を変えるための 企業実践



PROFILE

本多 佳美さん

特定非営利活動法人あおぞら 理事長

立上げ当初は何も分からずスタートしましたが、「工賃を上げたい」と強く思うきっかけとなる出来事がありました。ある利用者のおばあちゃんから「施設(あおぞら)ができて良かった」と感謝されたのですが、話をしているうちにおばあちゃんの家族の話になりました。実は家族に3人障がい者がいて、地域の方から「あの家は呪われている」「障がい者がいるとお金がもらえていいね」など陰口を言われてきたと泣きながら話してくれて、「この悔しさは私が墓場に持っていけばすむこと」と。話を聞きながら、施設の役割ってなんだろう、どうしたらご家族や本人が良くなるのか、と考えさせ

Q. NPO法人化されてから、様々な事業を立ち上げているんですね。

余暇活動している「熊と森の湯」があります。法人立上げ時は、私は現場責任者の施設長でした。一緒に立ち上げた理事長が7年前に亡くなり、わたしが理事長を引き継ぎました。

Q. あおぞらさんの活動について教えてください。

私たちは、障がいのある方の就労支援をしている団体です。平成15年9月に任意団体として活動スタートし、平成20年にNPO法人を取得し、今年9月で22年目になります。

現在、新潟市と阿賀野市で5拠点あります。江南区天野には本部と施設外就労中心の「あおぞらポコレーション」、中央区には「ポコレート」の製造販売している「久遠チヨコレート新潟」、新光町に「チヨコレート」と「ヒザ生地製造している「あおぞらブラン」、阿賀野市畑江では化粧品や着火剤を製造している「あおぞらソラシード」、障がいの重い方と一緒に生産活動や余暇活動している「熊と森の湯」があります。



- ① 化粧品製造の様子
- ②③ 施設外就労
- ④ イベント時の写真



られました。そして考えたのが、「自分たちが地域で働いてお金を稼ぐ」ということと「地域の人に知ってもらう」ことでした。この2つを仕組むするために、今でいう施設外就労という形で企業や農家さん、いろんなところに出かけて「障がいにかかわらず働ける」ということを知ってもらうことから始めました。施設外就労はうまく進んでいましたが、東日本大震災直後に、売上2/3ほどの仕事が無くなりました。たった1日で仕事が無くなってしまふことを経験し、「企業さん頼りだけではいけない」

と考え、自主事業と企業からの請負の両輪でやっていくことを決めました。

Q. 工賃の話がありました、実際どれくらいなんですか？

全国での平均工賃が月19,000円くらいと言われている中で、あおぞらポコレーションは、平均の4,000円くらいです。制度上の計算方法なので、平均になります。毎日来る方で2万円から10万円くらいです。施設外就労(請負)の仕事の方が売上が良く、高い工賃を払えているという現実はありません。

でもいっぱい失敗はしてきて、さきほど話したおばあちゃんの話聞いた直後は、全利用者の工賃を上げなきゃと思ったんです。深く考えず、「全員一律5万目指すぞ」と掲げた時、どの現場の職員も「効率上げよう」「売上上げよう」ってなっていました。どのメンバーに対しても出来高を求めたり。それで伸びる方は伸びるんですが、逆に休む方が出てきてしまいました。利用者みんなが高工賃を目指している訳ではないし、一人ひとり障がいの程度もペースも違う。一度仕切り直して「一律5万円」ではなく、例えば、毎日通うことを目的としている方に対しては、むしろどれだけ楽しい現場を作るか。5万を目指す方には、その業務スキルを教えるようにしたり。一人ひとりニーズが違つので、支援が違つのが当たり前なんだと気づきました。

当時の私は、とにかく高ければいいだろうと思っていましたけど、疲れてストレスを溜めて家に帰ってパニックになり、ご家族から「困る」とクレームがあったりとか、それからはグループ分けをして、それぞれの目標工賃を決めてやるようにしました。

Q. 理事長を引き継ぐ前と後で変化はありましたか？

立ち上げからずっと前理事長と一緒にやってきていて、唯一私の想いや悩みを話せる相手だったので、その相手がいなくなったことに気が付いた時はすごく寂しかったです。自分が理事長になったばかりの頃は、チャレンジすることが減りました。よく知っている方から、「普通の施設になつたね」「昔はいろんなことに挑戦していたのにな」と言われた時、「あーそっか」と気づきました。今も悩むことは多くて、前ほどはつちやけた発想とか、まずやってみよう！と動けない事はいっぱいあります。でも挑戦し続けていくってことはやっていきたい。地域を変えるとか、人と人との垣根が下がるといいなってことを一番上に掲げているので、自分の役割としてこれからもやっていきたいなと思っています。

本多さんの会社はコチラ!

特定非営利活動法人 あおぞら

理事長：本多 佳美 氏
 (新潟支部サウス地区)
 事業内容：障がい者へ就労支援及び
 日中活動に係わる
 福祉サービスの提供
 住所：新潟市江南区天野2-13-1
 TEL：025-280-7655
 創業：2003年 従業員数：34名



支部・委員会・部会活動報告

下越南支部

繋がろう、繋げよう
未来のために!

☆下越南支部ってどんな会?

スローガン「繋がろう、繋げよう未来のために」を掲げ現在下越南支部は木村支部長のもと会員37名で活動しています。主な活動内容としては、①会員拡大・組織強化②委員会・部会活動③ランチ

ミーティング(参加者近況報告)を行っております。下越南支部は阿賀野市、五泉市の会員が多く、土地柄モノづくりの事業所が多いせいかポジティブでアグレッシブな事業所が多いことも特徴です。

☆下越南支部の取り組みは?

今年度からは年一回の下越ブロック例会を下越南支部 新発田支部、村上支部のプロジェクトチームをつくり、3支部合同例会を7月26日に開催いたしました。初めての試みでしたが、報告者のお話は大変素晴らしく、たくさんのお話を聞き取り、帰ることができました。また、何より3支部合同で何かを成し遂げることの大切さ、絆を感じた例会でした。来年の下越ブロック例会が楽しみです!

6月5日には「中小企業憲章 条例活用 推進シンポジウム」下越南支部特別例会

を開催いたしました。阿賀野市産業経済振興条例、阿賀町小規模企業振興基本条例、五泉市中小企業・小規模企業振興基本条例が制定されておりますが、今までの条例の理念が私たちとつまく共有できていなかった様にも思います。私たちが中小企業を取り巻く経営環境は、年々厳しさを増していく中、産官学(行政・金融機関・教育関係労働団体)の報告をお聞きし、意見交換ができたことは、自社の経営方針の見直し、自社の社会的役割にどう繋げるか。中小企業家としての実りある例会となりました。

また、毎月のランチミーティングでは、活動内容再確認と参加者の近況報告を行っております。私は、悩み相談の場と感じていて、普段悩んでいることを相談したい、アドバイスを欲しいけど相談する人がいない、毎日もやもやしている、そんな悩みを話すことで気持ちをリセットできるからです。日中の忙しい時間帯ですが、一人でも多くの方に参加してほしいと思っています。最後に、下越南支部は、毎年経営指針成文化と実践の会を受講される会員さんがいます。受講する目的は人さまざまですが、自分を知り、会社の発展につながる第一歩の扉です! 強靱な経営体制を構築することにより、自社の発展、継続につながりますので、継続的に受講生を増やしていきたいと思っています。

下越南支部副支部長 野瀬 陽(南光園・ガーデンスタジオ雅楽庭 代表取締役)

柏崎支部

ホームページから
「自社」を見つめなおす



パネラーの
箕輪さん・
小竹さん(左から)



報告者の河本さん

柏崎支部では、昨年度より例会のテーマを「IT」に絞り、「各社のホームページの実践と検証とティスセッション」を中心に行っております。

様々な事業業態のある企業ですが、どの企業にとっても、ホームページに記載されている内容は、事業内容だけでなく、経営理念や企業沿革、代表の言葉など各社の本質を表現しています。また、各企業のホームページの目的によって力を入れていく部分は異なります。

そして、各社のホームページには各社の課題も現れ、そこを見直し・分析することで、課題の解決に繋げることにも可能です。

- ① 自社のホームページを見直すことで、集客や認知などの目的を再確認し、改めて自社サイトを分析し、より効果的な改善につなげる。
- ② 同業他社・異業種のパネラーとティ

スセッションを行い、違う角度からの意見を咀嚼し考える。

③ 他社・異業種ホームページの活用や目的などの事例を聞き、自社では何ができるかを考える。

テーマが特化している分、通常の同友会の例会とはスタイルの違う部分ではありますがありますが、ホームページというきっかけから、各社自身の目的課題を見つめなおし、学び合っています。

また、最近の「ChatGPT」についての勉強会から、「各社で利用したときの作業効率化できる業務を考える」という例会も行っています。

一度、柏崎支部の例会に参加しませんか? 他支部からのご参加もお待ちしております。

柏崎支部長 藤澤 正人(アイビリーサー 子株) 代表取締役 柏崎支部記

(一社)新潟県中小企業家同友会には5つの委員会・4つの部会があり、希望する会員は委員会・部会にいくつでも入ることが出来ます。合計9つの委員会部会は経営の課題ごとに分かれており、それぞれのテーマを専門的に学び、問題を解決していくところです。現場に直結した専門分野を深く学び、経営課題を解決するために共に学ぶ活動を行っています。



取材後の写真

広報情報化委員会

広報情報化委員会で新たな繋がりを 普段は知ることのできないお話を

燕支部の沼田英次です。

広報情報化委員会では、毎月の広報誌の発行に際し、実際にお話を伺いに会社へ取材訪問するなど、例会だけでは知ることのできないお話や現場の雰囲気を知ることが出来ます。取材を記事にする作業は少し大変ですが、「文章を作るのはちよつと…」という方ほど、勉強になると思います。細かい部分は委員会メンバーや事務局員さんと共有し、修正することで広報誌に掲載されますので大丈夫です!!

7月24日には新潟日報記者さんとの懇親会を開催しました。コロナ禍以前には夏冬の年2回開催され、中小企業経営者の生の声、記者の方々のアンテナや取材記事などお酒を交えながらざっくばらんに交流を図るイベントとなっていました。コロナ禍の間に委員会メンバーも大幅に入れ替わっており、今回初めてこの交流イベントに参加した(私を含む)メンバーも多くなりました。また、委員会外からもご参加をいただき普段接点のない会員同士の交流も図ることができました。

私は、右も左もわからないままに同友会の入会初年度からこの広報情報化委員会に参加しておりますが、支部の取り組みだけでは繋がりのない様々な会員さんや県外の同友会会員の方々との交流が持てる素晴らしい機会を得ているように思っています。

広報情報化委員会 沼田英次

(株)大進 代表取締役 燕支部 記

青年部会

地域課題について考える



パネラー3名と
キャンプ場



7月13日(土)に佐渡にて、青年部会セオルチームと佐渡支部との合同例会を行いました。当チームは地域課題をテーマに活動しております。昨年の1回目の例会は「なぜ担い手不足を招いているのか？」を題材に、2回目は後を継ぎたくなる企業について深掘り、「魅力ある企業にする為には？」を題材に例会を行いました。そして今回は、佐渡を自分たちの住む地域と置き換えてみた時に発見があるのではないかと考え、「島内の方が感じる魅力、島外の方が感じる魅力の違い」「情報発信のやり方」「給料以外での魅力」などに着目して佐渡支部との合同例会でリアルな声を聞くチームとしての最終例会を行いました。島内で生まれ育ち新しいことにチャレンジしている方や、島外から移住し起業した方など3名をパネラーにディスカッション形式で行い、パネラー3名の個性や考え方などを聞けて有意義なひとときとなりました。神田青年部会長

のご協力で県外の部会長3名にも参加していただき、ゲスト参加もあり、懇親会もBBQをしながら盛り上がり、焚き火を囲んで夜遅くまで語り合えた時間も最高でした。会場となったキャンプ施設は時間がゆったり流れ、非日常を味わえるとても素敵な場所でした。お世話になっているチームメンバー2名がいる佐渡で最後は例会をやるうーと決めて実行でき、行き道の道中でメンバーや参加された方と過ごした時間も思い出に残る最高の時間でした。佐渡支部長をはじめ、佐渡支部の皆様によくしていただいたおかげで無事に開催できたと思っております。自分自身初めての佐渡だったのですがとても良いところでした。

改めまして、ご参加いただきました皆様ありがとうございました。

青年部会セオルチーム 武者将由

(ヤママツ)武者村 村上支部 記

《新入会員紹介》

入会おめでとうございます。新しく入会された会員を紹介します。》

①役職 ②業務内容 ③支部 ④入会日 ⑤紹介者



たけだ えつこ
武田 悦子

(株)猪又商店

- ①取締役営業部長
- ②全酒類・食品問屋
- ③上越支部
- ④2024年6月7日 入会
- ⑤堀井祐介

株式会社猪又商店の武田悦子と申します。株式会社フーディーネットジャパンの堀井社長の紹介で入会しました。糸魚川市で全酒類と食品の卸問屋をしています。私自身は経営者ではありませんが、同世代・先輩の若手経営者の方と交流ができればと思います。よろしくお願ひいたします。



せが なおあき
瀬賀 真亮

クリボウ

- ①代表
- ②チラシ・HPのデザイン、制作、コンテンツ作成
- ③村上支部
- ④2024年6月11日 入会
- ⑤山貝誠

印刷デザイン、WEB・コンテンツ制作などを行っております。クリボウの瀬賀です。自分自身を高め、必要とされる事業所になる事を目指して入会しました。新しいことにも貪欲に挑戦していきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。



まるやま まさはる
丸山 正晴

三条精密工業(株)

- ①代表取締役社長
- ②精密板金部品の加工
- ③三条支部
- ④2024年6月20日 入会
- ⑤知野学

三条精密工業株式会社の丸山正晴と申します。三条市にて板金加工、金属プレス加工を通してお客様のモノづくりに貢献出来るよう事業を営んでいます。皆様から刺激を受けながら成長していけたらと考えていますのでお会いした際は宜しくお願ひいたします。



ますだ かずき
柘田 一希

(株)柘田井戸ポンプ設備工業所

- ①取締役
- ②精密板金部分の加工
- ③新潟支部セントラル地区
- ④2024年6月26日 入会
- ⑤事務局

新潟支部セントラル地区に入会しました。株式会社柘田井戸ポンプ設備工業所の柘田一希と申します。三条市にて、消雪用井戸を施工するさく井事業を営んでおります。私自身はまだ経営者ではありませんが、経営指針を策定したいと思ひ入会しました。至らぬ点があると思ひますが、よろしくお願ひいたします。



てらだ あい
寺田 愛

(同)paw

- ①代表
- ②ペットのトリミングサロン
- ③新発田支部
- ④2024年6月26日 入会
- ⑤鶴田雄介

新発田市でトリミングサロンを営んでおります。開業して12年目になりますが最近法人化しまして経営についてより深く知識を身に付けたいと思っております。先輩方や同世代の経営者の皆様と交流ができればと思います。よろしくお願ひいたします。



さかみ たいいちろう
酒見 泰一郎

(株)メソッドラボ

- ①代表取締役
- ②テクニカル分析を活用した株式投資スクール
- ③新潟支部ウエスト地区
- ④2024年8月2日 入会
- ⑤鶴田雄介

新潟支部ウエスト地区に入会しました株式会社メソッドラボの酒見(さかみ)と申します。チャート分析を学べる株式投資スクールを運営しています。ちょうど一期目が終わったばかりで、経営の難しさを見通しの甘さを痛感しております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



私とお話しませんか？ 会員交流の館

今月の交流の館は、11月20日に開催を控える
中小企業経営フォーラム2024inにいがたについて、
実行委員長の中村修吾さん(株Creative.LAB 新潟支部
セントラル地区)と副実行委員長の諸橋晋太郎さん
(有新潟ワークステーション新潟支部サウス地区)から
フォーラムに向けた想いを、
広報情報化委員会 吉野竜也さん(株アドハウスパブリック
新潟支部セントラル地区)が伺いました。

vol.15

吉野：フォーラムのお話をする前に、お二人は旧知の仲と聞きましたが、いつごろから面識があるんですか？

中村：晋ちゃんとは幼稚園の頃から小中と一緒で、同じサッカー部でした。お互い両親も知っていますし、かなり長い付き合いですね。

諸橋：当時はまさか二人して経営者になっているなんて思っていませんでした。

中村：会社を立ち上げる際、周りの友人は誰も応援してくれなくて悲しかったです(笑)。

諸橋：先に経営者になった身として、やめたほうがいい、とは思っていましたが、なっちゃったんで(笑)。なっただけには勉強したほうがいいと思って、同友会を紹介しました。

吉野：中村さんが副実行委員長に諸橋さんを指名したのはそついつ関係性からですか？

中村：実行委員長のお話をもらって、受けようと思ったときに諸橋さんが一番に思いつきましたね。ただ、経営労働委員長とか、他の役職もあって大変だと思いましたが、「同友会はYESかはいだよ」と普段から言われていたので、いいかなって(笑)。

吉野：フォーラムのテーマは「ARE YOU READY?覚悟はできたか?」ですが、ここに込められた想いは何ですか？

中村：私が創業後、暫くしてから感じていたことですが、経営をする上で一番必要なものは、技術でも知識でもなく、覚悟だと思っています。人はそれぞれ、物事に向ける尺度は違っても「いついつに覚悟をもって望むことが何より大切だ」と考えており、「自身の覚悟を再認識する」と今回のテーマにしました。また、学びの

面だけでなく、まずは参加者にこのフォーラムをお祭りのように楽しんでほしいです。学びあい、交流し、楽しみながら経営を学ぶ、そこが一番のポイントだと思っています。

諸橋：実行委員長のキャラクターもポジティブで、それを叶えていきたいと思っています。私はどちらかというとネガティブですが、示した方向性に合うように学びの部分をサポートしていきたいと考えています。今年の実行委員会には、設営の新潟支部だけでなく、他支部委員会部会の方へも関わっていただいています。一年に一度のフォーラムなので、全県で盛り上げ、それぞれが主体的に関わる有意義な行事にしたいと考えています。

吉野：最後に、皆さんに向けて意気込みをお願いします。

中村：様々な経営者が一堂に会し、学び合って語り合う。これって、数年前はサラリーマンだった私から見ると凄いいことです。私は今回、最高のフォーラムにする覚悟を持って臨みます。そして、必ず皆さんに良かったと思っただけの心に残る会にします。早い者勝ちです！最高のフォーラムに是非ご参加ください！

諸橋：他県をはじめ、県内各支部の例会にもPRでお邪魔する予定です。そこで、フォーラムの魅力をお伝えさせていただきます。難しいことは言いません。案内にペンで○をつけていただきたいと思いますので、各支部例会でお会いできることを楽しみにしています。

(一社)新潟県中小企業家同友会 中小企業経営フォーラムin新潟

日時：11月20日(水) 13:00~19:30
会場：迎賓館TOKIWA
基調講演：山井太氏 (株)スノーピーク 代表取締役
分科会報告者：第1分科会 長谷川 政樹氏
トキエア(株) 代表取締役
第2分科会 西田 悠一郎氏
株野遊びヘルスケア 代表取締役
第3分科会 岩田 孝義氏
株酒のかどや 代表取締役(村上支部)
村田 泰洋氏
有伊藤自動車整備工場 代表取締役(村上支部)
河内 仁氏
有富士電子 専務取締役(村上支部)

参加費：3,000円~15,000円(詳細は案内をご確認ください)

企業：(株)Creative.LAB
代表取締役：中村 修吾氏
(新潟支部セントラル地区)
事業内容：映像制作・HP制作・
ライブ配信事業・
TVやWEB広告など



企業：(有)新潟ワークステーション
代表取締役：諸橋 晋太郎氏
(新潟支部サウス地区)
事業内容：箔押し、内職配布

企業：(株)アドハウスパブリック
クリエイティブディレクター：吉野 竜也氏
(新潟支部セントラル地区)
事業内容：地域・企業・商品などのブランディング、デザイン全般の制作。魅力発掘~販売やPR~組織運営の戦略立案 実行のサポート。

例会や行事の報告など、情報共有の場としてフリーテーマで同友会の情報を発信します。

中小企業家同友会 サポートツール案内『企業変革支援プログラム Ver.2』



定価2200円 事務局にて販売中



皆様は企業変革支援プログラムをご存じでしょうか。

中小企業家同友会には、自社分析を数値化し、長所と短所を可視化することが可能な「企業変革支援プログラム Ver.2」という書籍があり、会員専用サイト「edoyu」では、それらの結果を「データ」として入力し、全国の登録企業のデータを比較することができるページを利用可能です。

企業変革支援プログラムの目的は「3つの目的」や「中小企業における労使関係の見解」、「21世紀型中小企業づくり」の本質を明らかにするとともに、それらを企業変革のために整理分類し、自社の成長発展を図る物差しとして活用しよう」というものです。

「企業変革支援プログラム Ver.2」は、

より深く自社を見直しすることができるテキストになっており、活用した会員さんからは「自社の現在地と課題が明確になった」と感想もいただいています。書籍全体を通して、より細かく分析することも可能ですが、簡易的に見直すことも可能で、この書籍の12.13P、77.78Pを参考にデータを作成すると、自社のデータが明確化しやすくなっています。

そのデータをもとに、他社との比較を行えるのが、edoyuの「企業変革支援プログラム Ver.2」です。edoyuへログイン後、左側のメニュー画面に表示されている「企業変革支援PG Ver.2」を選択し、「自社データの登録」・「登録済みデータ一覧」・「比較」をすることが可能です。（スマホ版にはこの表示がありませんので、スマホからの場合は「PC版を表示」をご選択し、

そのデータをもとに、他社との比較を行えるのが、edoyuの「企業変革支援プログラム Ver.2」です。edoyuへログイン後、左側のメニュー画面に表示されている「企業変革支援PG Ver.2」を選択し、「自社データの登録」・「登録済みデータ一覧」・「比較」をすることが可能です。（スマホ版にはこの表示がありませんので、スマホからの場合は「PC版を表示」をご選択し、

左上のメニューボタンから選択してください。）

最初は面倒でも、定期的にデータのセルチェックを行うと「毎回微妙に結果が違ふ」となる方も多いそうです。それは、日々少しずつの状況の変化や、経営者自身の思考の変化など、様々な要因があることでしょう。それがどうしてなのか、何が変わったのか。自社・自身の定点観測の役割も含め、ぜひ企業変革支援プログラムをご活用ください。

DO YOU KNOW?にいがた

2024年10月1日号

一般社団法人 新潟県中小企業家同友会 広報情報化委員会

住所：〒950-0901 新潟市中央区弁天1丁目1-16 サンテラス石宮2-A
TEL：025-288-1225 FAX：025-288-1226
E-mail：info@niigatadoyu.jp
HP：https://www.niigatadoyu.jp/

頒価250円(年間3,000円・送料別) 会員の購読料は会費に含まれます。

編集後記

先日、8か月ぶりに福島県中小企業家同友会の広報報道委員会の方とお会いしました。これまで2回お会いしていたのですが、新潟の広報情報化委員会との交流を通じて、紙面の活性化という事で、今期からカラー化に変更し、リニューアルされたとのこと。拝見させていただくと、真似をしたくなる部分もあり、大変勉強になりました。広報誌を通じて、誰に何を伝えたい発信したいのかを改めて確認し合いながら、紙面づくりも工夫をしていきたいと感じました。取材だけでなく、県内外の会員の方との交流をすると、何かしらの気づきを頂けるので、ありがたいです。そういったことも同友会の魅力なので、伝えていきたいと思っております。

(株)シナゼン 代表取締役 品田 敦司(新潟支部) 記